

院生会員・新人会員向け支援プログラムの創設に係る件(予定)

日本マネジメント学会会長 松村洋平

日本マネジメント学会では、今般、会員増強プロジェクトチームからの提案を受け、院生会員・新人会員向けの支援プログラムを創出予定です。下記の事項に関してはすでに常任理事会による了解を得ており、6月25日の理事会での承認を経て会員総会で説明予定であります。募集期限がいささか切迫していることもあり、先行的に情報開示を行うことといたしました。ご了承いただければ幸いに存じます。

◎「院生会員・新人会員向け支援プログラムの創出」

<支援プログラムの概要>

- ・主として孤立している地方在住の若手新人会員や一緒に切磋琢磨する仲間を持たない院生会員、研究報告や論文作成に関する本格的な指導を希望する社会人修士修了生の会員等を念頭に置きつつ、学会としての集団支援プログラムを創設する。
- ・支援内容の主眼は、上記のような対象会員向けに、当学会における学会報告と報告内容の論文化の準備プロセスでのアドバイス、及び学会報告後の論文作成までの一連の道筋を一緒に辿ることを通じて、メンバー間の相互研鑽・啓発環境の設定を行うものとする。言い換えれば、「当学会として院生会員・新人会員・実務家会員に研究成果発表の場をキチンと確保・設定していくので、そのためのウォーミングアップの場もあわせて整備する」というものである。
- ・6ヵ月間程度の期間を設定し、主として Zoom 集合指導や合同勉強会・相互発表会・意見交換会等の機会を支援メンバー向けに設定しつつ、集団支援活動を展開する。学会報告後の論文作成までの一連の道筋を一緒に辿ることを通じて、メンバー間の相互研鑽・啓発の環境設定も行う。

<支援対象者・人数・期間>

- ・春秋の年2回公募の約半年間の支援プログラムとし、対象は院生会員（社会人修士院生も可）及び入会3年以内の新人会員とし、実務家会員も歓迎する。支援機会は1回のみだが、応募は複数回可能とする。
- ・「次回全国研究大会もしくは半年以内に開催予定の部会での報告とその後の機関誌投稿」を希望する院生・新人・社会人会員が、所定期間内に推薦者1名(指導教授可)のもとに応募するものとする。募集要項の詳細は近日中に学会ホームページ掲載。
- ・書類選考にて毎回5名以内を選抜し、選抜者には学会報告のタイミングの確定を義務付ける。また、「実・学一体」を志向しつつ、社会人院生・修了生・社会人会員枠は複数名分確保する。

<推進体制>

- ・この支援プログラムを運営するプロジェクトチームを会長直轄で別途組織化し、予算措置も検討する。
- ・あらかじめ、初回担当の支援プログラムの運営責任者1名、メンター予定教員2~3名、支援担当若手教員2名を選任しておくが、この担当者に関する情報は事前開示しないこととする。

<応募と問い合わせ>

- ・初回公募の締め切り日は6月末日とし、希望する方は以下のアドレスまでメールで応募すること。その際、A-4用紙1枚にて、氏名・所属・入会時期・略歴・年齢・連絡先・推薦者・本プログラム応募動機・研究テーマ・発表時期・報告後の論文化の予定・現状の研究環境の問題点等を記述し、添付送信すること。
- ・応募を前提としたお問い合わせも受け付けております。

chairperson@nippon-academy-of-management.com

以上